

甲賀市消防団員意識調査結果報告書

平成28年6月

甲賀市

【 目 次 】(No質問項目……ページ)

調査の概要等	P2
1 あなたの年齢をお答えください。	P3
2 あなたの所属方面隊をお答えください。	P4
3 あなたの消防団加入期間を教えてください。	P5
4 あなたの消防団役職歴を教えてください。	P6
5 あなたの主たるご職業をお答えください。	P7
6 あなたが消防団に入団したきっかけを教えてください。	P8
7 あなたが入団を決心した最も大きい理由は何ですか。1つだけ選んでください。	P9
8 あなたが思う消防団員として適切な加入年数をお答えください。	P10
9 あなたが思う消防団に入団する適齢をお答えください。	P11
10 あなたが思う消防団を退団する適齢をお答えください。	P12
11 あなたはこれから何年くらい消防団員として活動したいですか。	P13
12 あなたは将来、幹部団員(部長以上)になりたいですか。	P15
13 あなたが消防団活動を通じて良かったと感じることを2つまで選んでください。	P16
14 あなたが消防団活動でやり甲斐を感じることを2つまで選んでください。	P17
15 あなたが消防団活動で不満に思うことを2つまで選んでください。	P18
16 あなたはどれくらい消防団活動に出動していますか。	P20
17 あなたが消防団活動に出動できない理由は何ですか。2つまで選んでください。	P21
18 あなたが所属している班の人員は消防活動を行う上で足りていますか。	P23
19 甲賀市消防団の組織全体であなたが感じることは何ですか。1つ選んでください。	P24
20 あなたはこれまで新入団員の勧誘をしたことがありますか。 入団を拒まれたことはありますか。	P26
21 消防団員の減少が全国的な傾向にある中で、新入団員を確保するために あなたが良策と思われるものは何ですか。2つまで選んでください。	P27
22 将来、少子化などにより思うように団員が確保できなくなった場合、 あなたは消防団をどうすべきと考えますか。2つまで選んでください。	P29

【目的】

消防団は地域における防災減災の中核をなす役割を担っていますが、近年、団員の減少は全国的な傾向であります。そこで、甲賀市消防団を持続させていくため、現役消防団員に対し活動等に関する意識調査を行い、今後の団員確保に向けた基礎資料とします。

【実施主体】: 甲賀市

【対象】

甲賀市消防団員 500人 (全団員数1,169人 H27.8.1現在)
各班の班長以下の団員概ね2分の1とし、無作為で依頼

【調査時期】

平成27年8月～9月

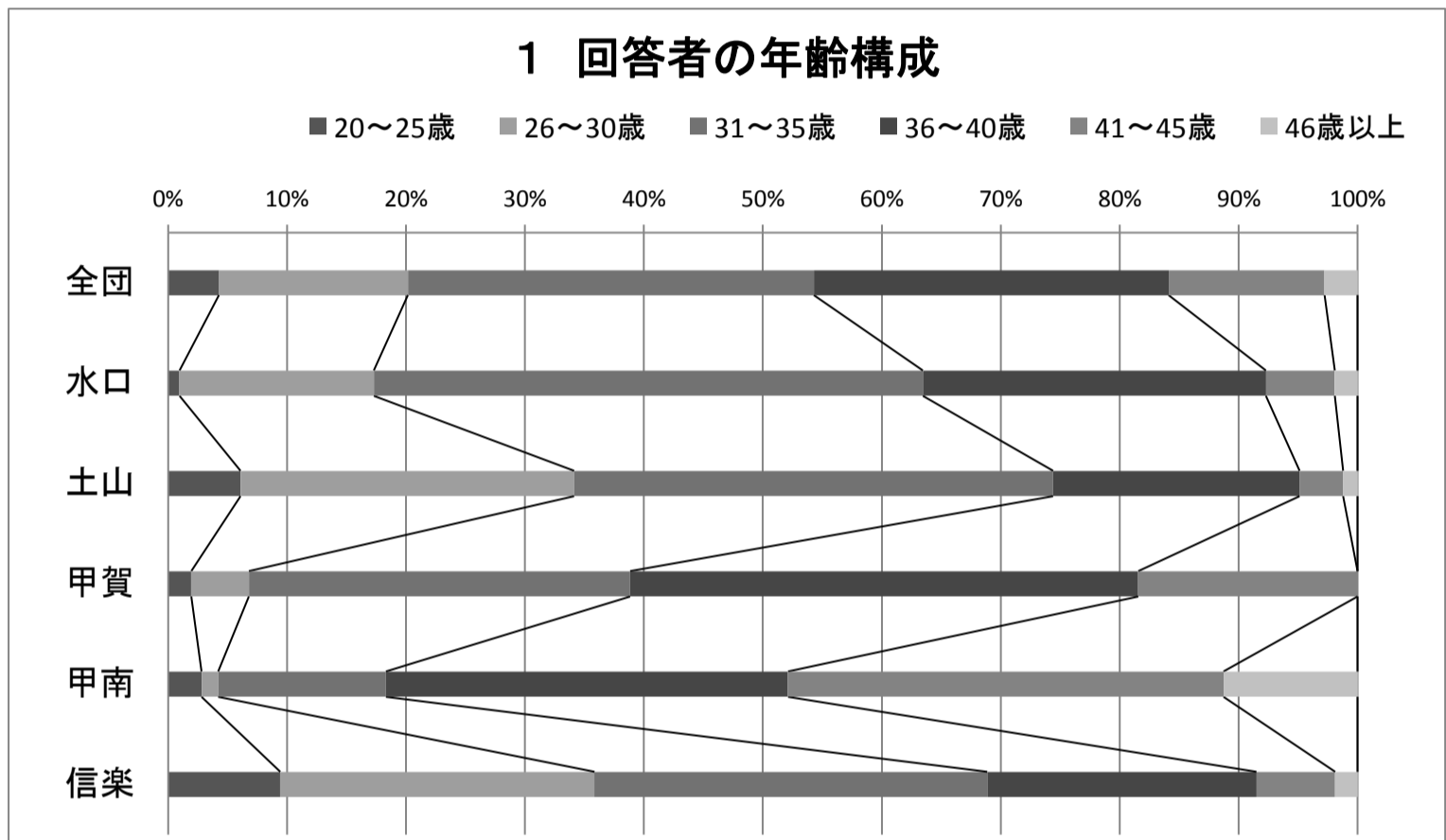
【回収結果】

項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
		水口	土山	甲賀	甲南	信楽
配布部数	500	116	83	112	74	115
回収部数	466	104	82	103	71	106
回収率	93.20%	89.70%	98.80%	92.00%	95.90%	92.20%

1 あなたの年齢をお答えください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	20～25歳	20	1	5	2	2	10
②	26～30歳	74	17	23	5	1	28
③	31～35歳	159	48	33	33	10	35
④	36～40歳	139	30	17	44	24	24
⑤	41～45歳	61	6	3	19	26	7
⑥	46歳以上	13	2	1	0	8	2
	計	466	104	82	103	71	106



本調査は無作為抽出によるものでありますが、甲賀市消防団員の平均年齢が35.5歳であるのに対し、甲賀方面隊及び甲南方面隊においては36歳以上を占める割合が高い傾向にあり(甲賀方面隊 約61%、甲南方面隊 約81%)団員の高齢化が伺えます。逆に水口方面隊、土山方面隊及び信楽方面隊においては35歳以下の団員の割合が高い傾向にあります。(水口方面隊:約62%、土山方面隊:約72%、信楽方面隊:約69%)

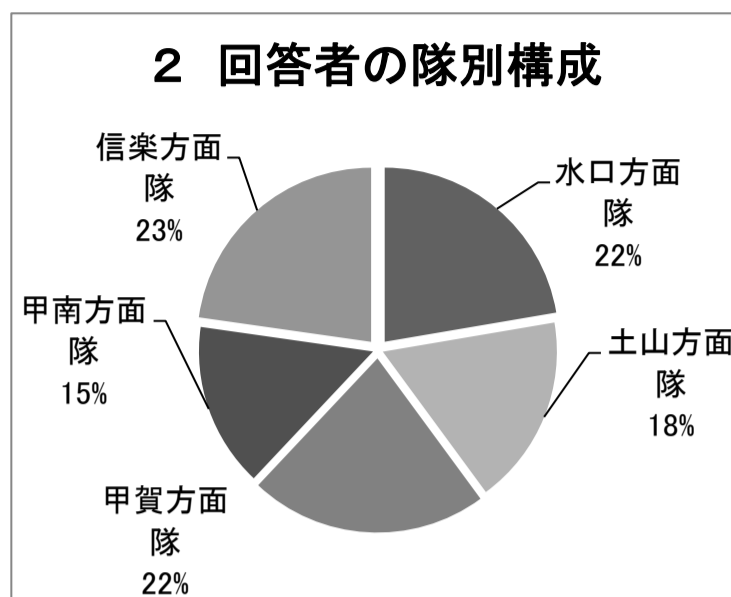
※ 参考資料 甲賀市消防団員の平均年齢

平成27年4月現在 (歳)

全団	隊別内訳 (方面隊)				
	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
35.5	34.24	32.46	36.78	40.33	33.55

2 あなたの所属方面隊をお答えください。

		(人)
項目		
①	水口方面隊	104
②	土山方面隊	82
③	甲賀方面隊	103
④	甲南方面隊	71
⑤	信楽方面隊	106
	計	466



回答者の隊別構成比率は、隊別人員構成比率とほぼ同等です。

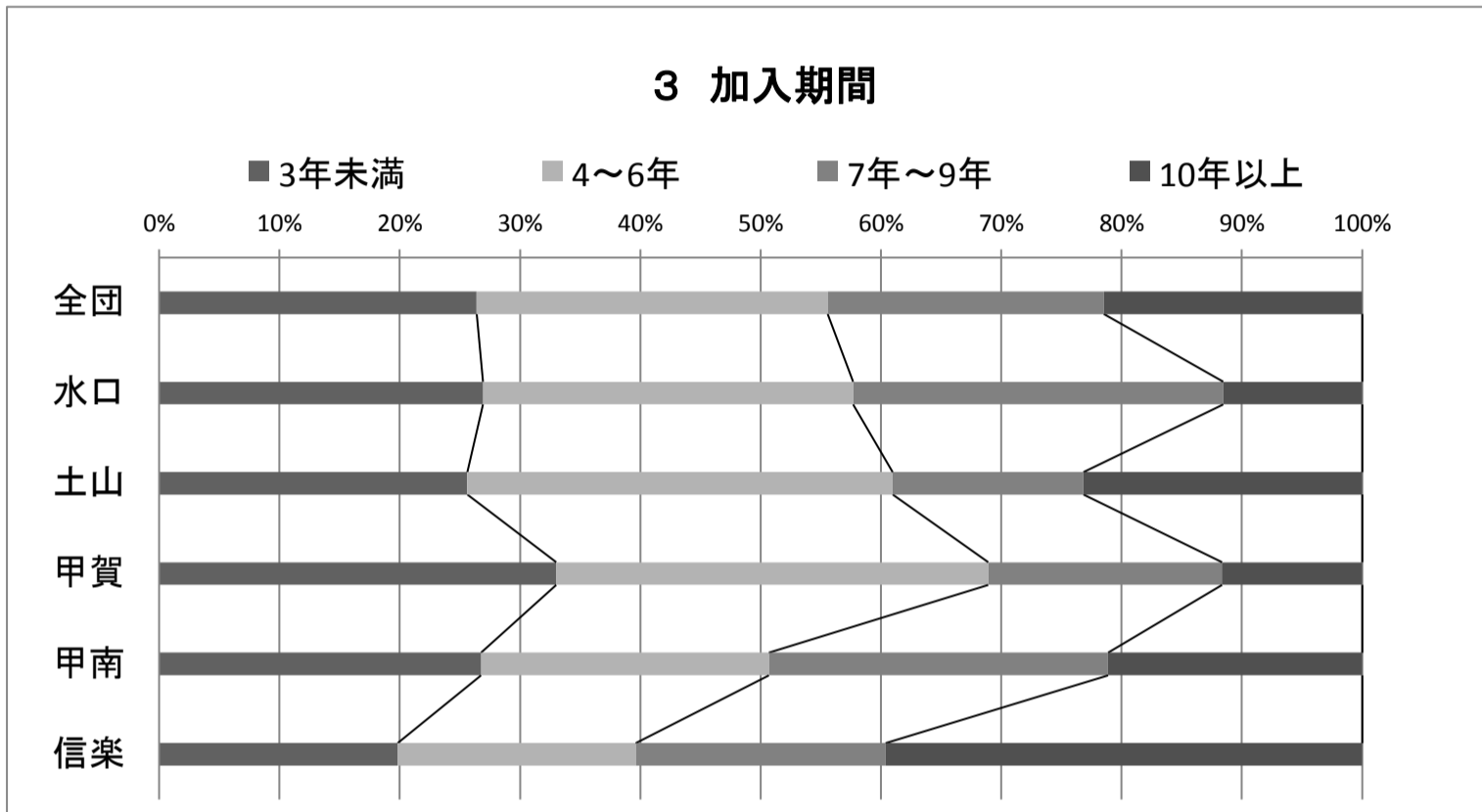
※ 参考資料 隊別構成人員 平成27年4月現在 (人)

	班長以下人数	
水口方面隊	246	23%
土山方面隊	176	17%
甲賀方面隊	236	22%
甲南方面隊	157	15%
信楽方面隊	244	23%
	1,059	100%

3 あなたの消防団加入期間を教えてください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	3年未満	123	28	21	34	19	21
②	4～6年	136	32	29	37	17	21
③	7年～9年	107	32	13	20	20	22
④	10年以上	100	12	19	12	15	42
	計	466	104	82	103	71	106



全団の構成比率は各年齢層20%～30%の比率でバランス良く構成されていますが、隊別に見ると、信楽方面隊において10年以上の者が約40%を占めており他の隊と比べると2倍程度と経験年数の長い者が特化しています。逆に甲賀方面隊では経験年数7年未満の団員が約70%を占めるなど、地域別にも緩やかではありますが偏りが見られます。

※ 参考資料 隊別経験平均年数

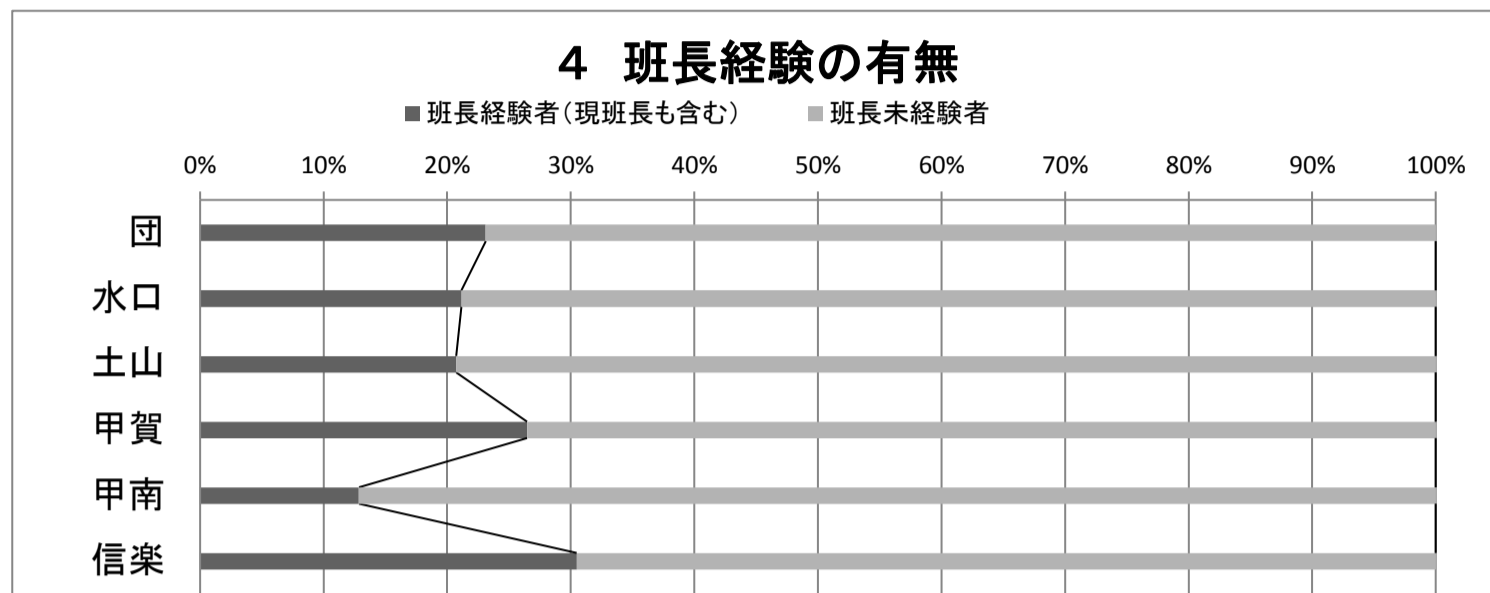
平成27年4月現在 (年)

全団	隊別内訳 (方面隊)				
	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
6.732	5.37	5.87	5.93	7.12	9.37

4 あなたの消防団役職歴を教えてください。

(人)

	団	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
① 班長経験者(現班長も含む)	107	22	17	27	9	32
② 班長未経験者	356	82	65	75	61	73



	水口方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
① 班長経験者(現班長も含む)	0	1	7	9	4	1	
② 班長未経験者	1	16	41	21	2	1	

	土山方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
① 班長経験者(現班長も含む)	1	0	10	3	2	1	
② 班長未経験者	4	23	23	14	1	0	

	甲賀方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
① 班長経験者(現班長も含む)	0	0	2	13	12	0	
② 班長未経験者	2	5	31	30	7	0	

	甲南方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
① 班長経験者(現班長も含む)	0	0	0	0	7	2	
② 班長未経験者	2	1	10	24	19	5	

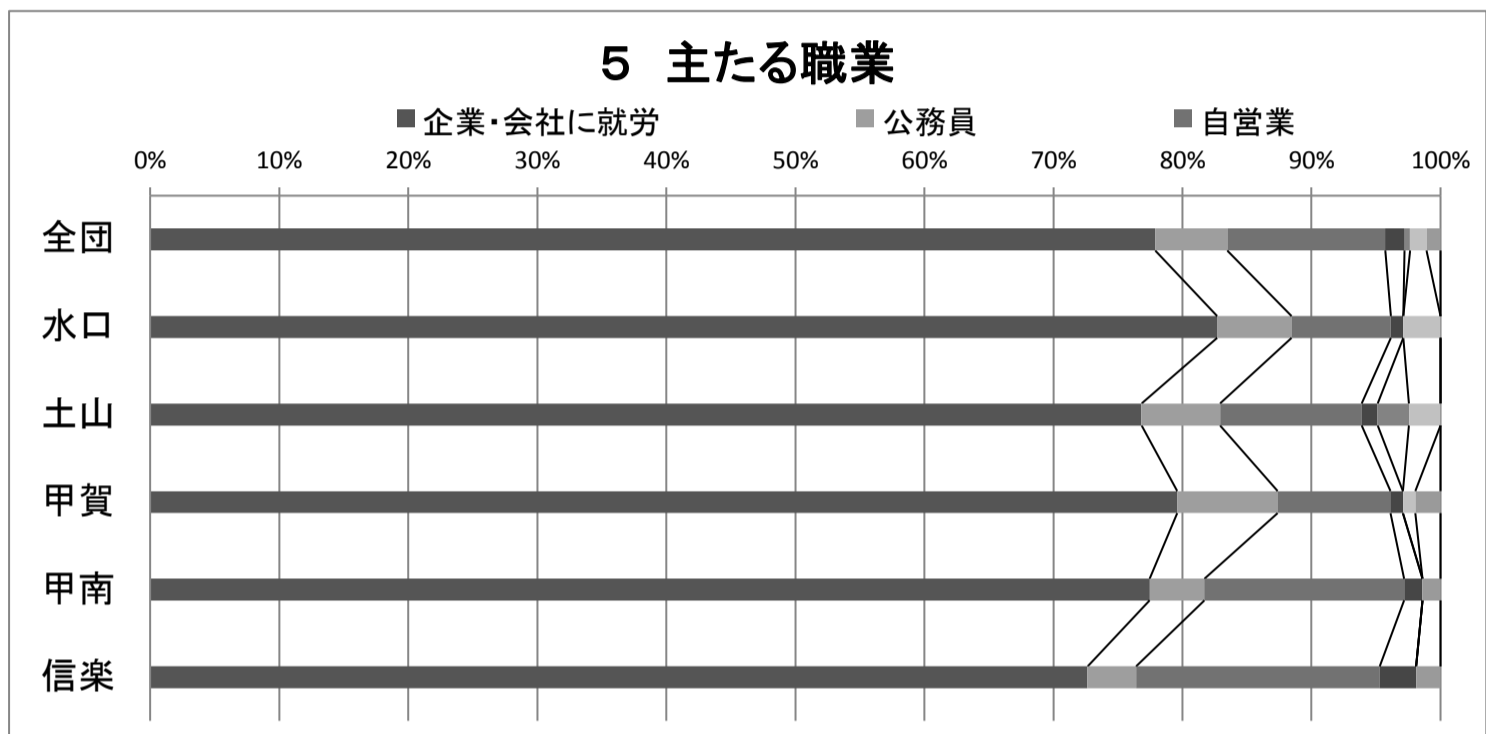
	信楽方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
① 班長経験者(現班長も含む)	0	3	8	13	6	2	
② 班長未経験者	10	25	27	10	1	0	

班長経験者は全体の約20%ですが、信楽方面隊は約30%と経験者の占める割合が若干高く、逆に甲南方面隊においては約12%と若干低い傾向にあります。年齢別に見ると班長経験者は主に31歳から40歳に構成されていますが、甲南方面隊においては41歳以上に構成されていることがわかります。

5 あなたの主たるご職業をお答えください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	企業・会社に就労	363	86	63	82	55	77
②	公務員	26	6	5	8	3	4
③	自営業	57	8	9	9	11	20
④	農林業	7	1	1	1	1	3
⑤	学生	2	0	2	0	0	0
⑥	未就労(フリーターを含む)	6	3	2	1	0	0
⑦	その他	5	0	0	2	1	2
	計	466	104	82	103	71	106



消防団員の約85%はサラリーマンであることが分かります。自営業の占める割合は、隊別、高い順に信楽方面隊が約19%、甲南方面隊が約16%、土山方面隊が約11%、甲賀方面隊が約9%、水口方面隊が約8%となっています。

6 あなたが消防団に入団したきっかけを教えてください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	先輩団員の勧誘	401	86	67	93	61	94
②	家族の勧め	4	0	3	0	1	0
③	地域区長の勧誘	27	10	4	3	5	5
④	自ら進んで	20	3	4	4	4	5
⑤	その他	12	5	3	3	0	1
	計	464	104	81	103	71	105



入団のきっかけは、「団員の勧誘によるもの」が86%と突出して高く、次いで「地域区長の勧誘」が6%、「自ら進んで」は4%となっています。

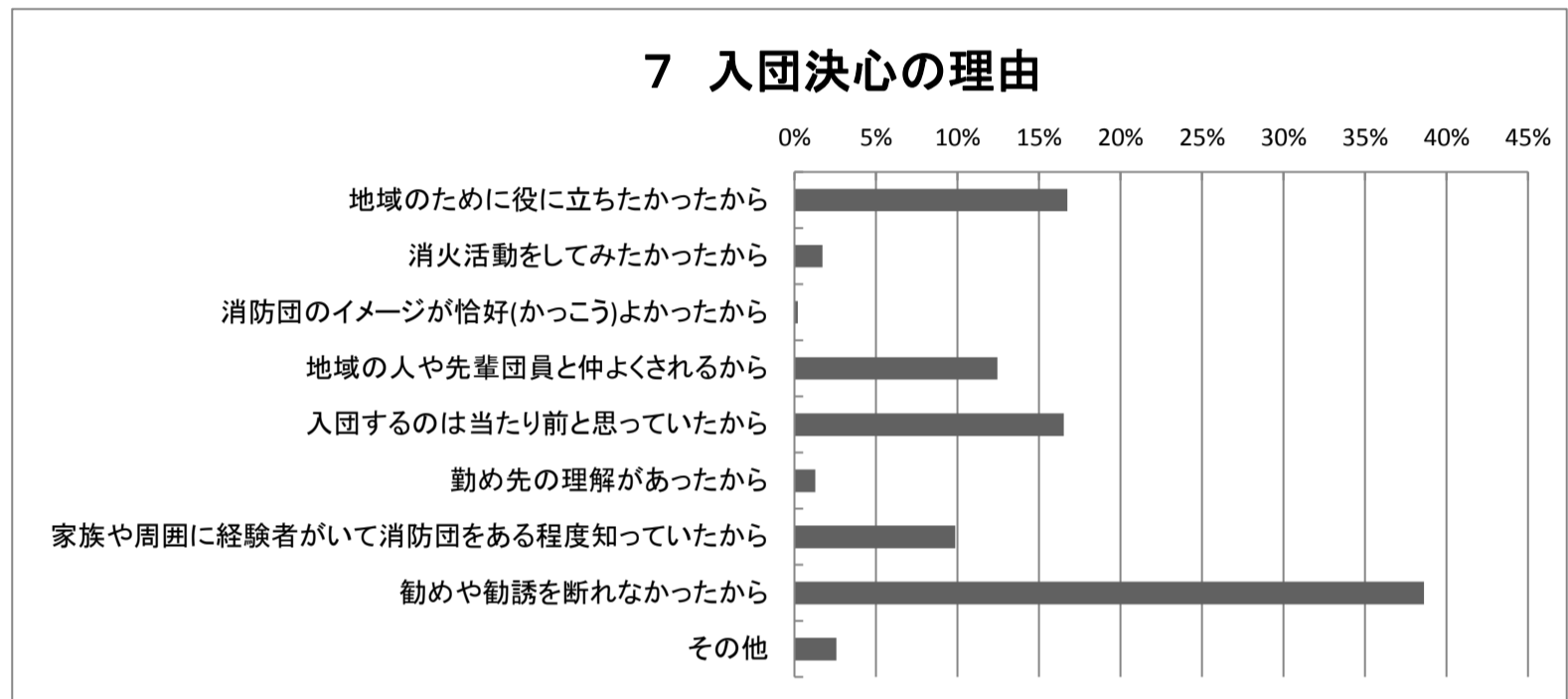
6 あなたが消防団に入団したきっかけを教えてください。(⑤その他の意見)

1	義務意識
2	仕事上
3	地域協議員の強引な勧誘。
4	強制的に
5	同僚の勧誘
6	世間体を考えて
7	会社の先輩の勧め
8	1と3が一緒に来た。
9	職場の上司も団員だったため
10	友達がしていた
11	現役団員からの勧誘

7 あなたが入団を決心した最も大きい理由は何ですか。1つだけ選んでください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳				(方面隊)
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	地域のために役に立ちたかったから	78	17	15	12	12	22
②	消火活動をしてみたかったから	8	1	3	0	2	2
③	消防団のイメージが恰好(かっこう)よかったから	1	0	1	0	0	0
④	地域の人や先輩団員と仲よくされるから	58	15	7	13	7	16
⑤	入団するのは当たり前と思っていたから	77	9	22	28	5	13
⑥	勤め先の理解があったから	6	2	0	2	0	2
⑦	家族や周囲に経験者がいて消防団をある程度知っていたから	46	16	5	9	5	11
⑧	勧めや勧誘を断れなかったから	180	40	26	38	37	39
⑨	その他	12	4	3	1	3	1
	計	466	104	82	103	71	106



入団を決心した理由で最も比率の高かったものが「勧めを断れなかった」が39%、次いで「地域のために役に立ちたかったから」が17%、同じく「入団するのは当たり前だと思っていた」が17%、「地域の人や先輩団員と仲良くされるから」が12%となっています。

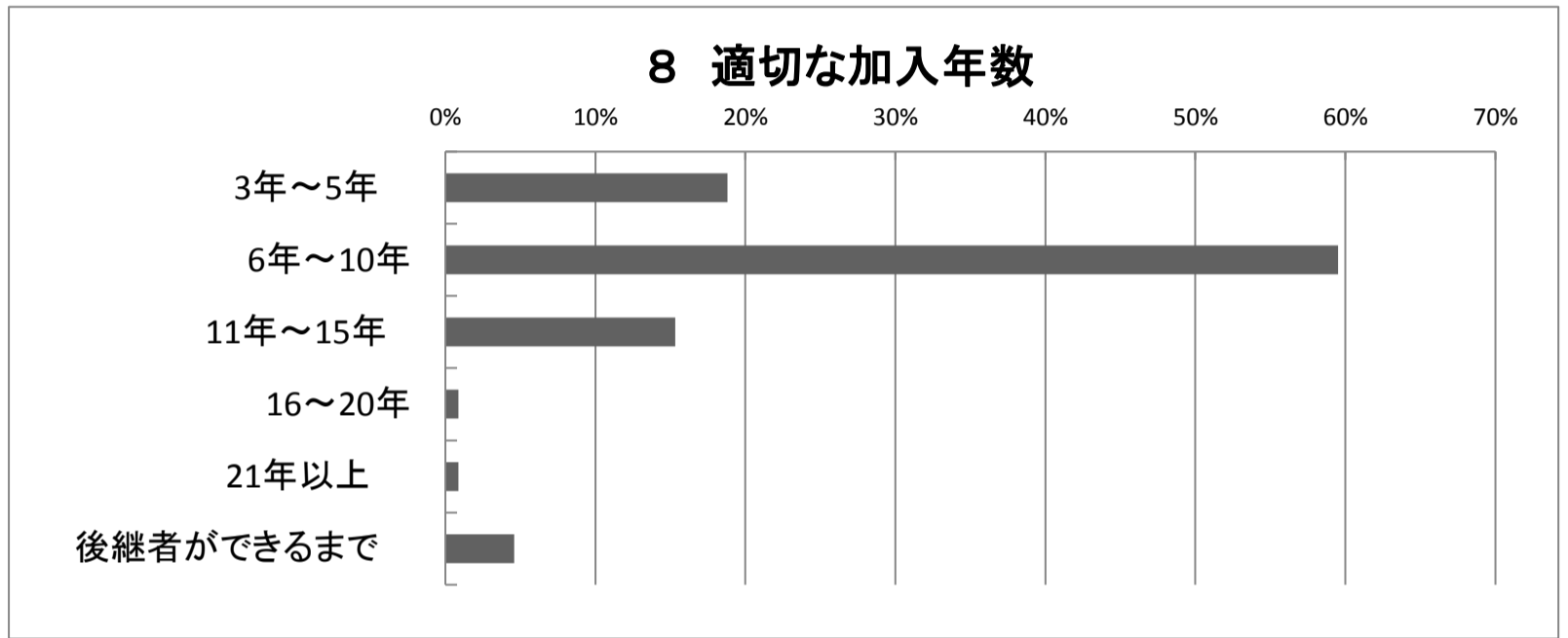
7 あなたが入団を決心した最も大きい理由は何ですか。1つだけ選んでください。(⑨その他の意見)

1	断ればほかに入る人がいなかったから
2	自営業をしているので
3	地域とのつながり
4	仕方ないから
5	何度も誘っていただき情熱を感じたため
6	昔ながらのつながり
7	地域に住んでいる以上入らないと肩身が狭いから
8	区に人がいないから
9	世間体を考えて
10	断る理由もなかったから
11	消防団活動に興味があったから
12	地域に住む中で自分の年代がないので
13	風土の流れ
14	ポンプ操法もなくなり活動的には支障がないと聞いたため
15	甲賀市になったから
16	消防士になりたかったから

8 あなたが思う消防団員として適切な加入年数をお答えください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	3年～5年	86	20	24	23	12	7
②	6年～10年	272	74	43	72	42	41
③	11年～15年	70	7	8	7	12	36
④	16～20年	4	0	2	0	1	10
⑤	21年以上	4	0	0	0	1	3
⑥	後継者ができるまで	21	3	5	1	3	9
	計	457	104	82	103	71	106



適切な加入年数として「6年～10年」が60%を占めており、次いで「3年～5年」が19%、「11年～15年」が15%となっています。実際の加入状況とほぼ同等となっています。

※ 参考資料 隊別経験平均年数

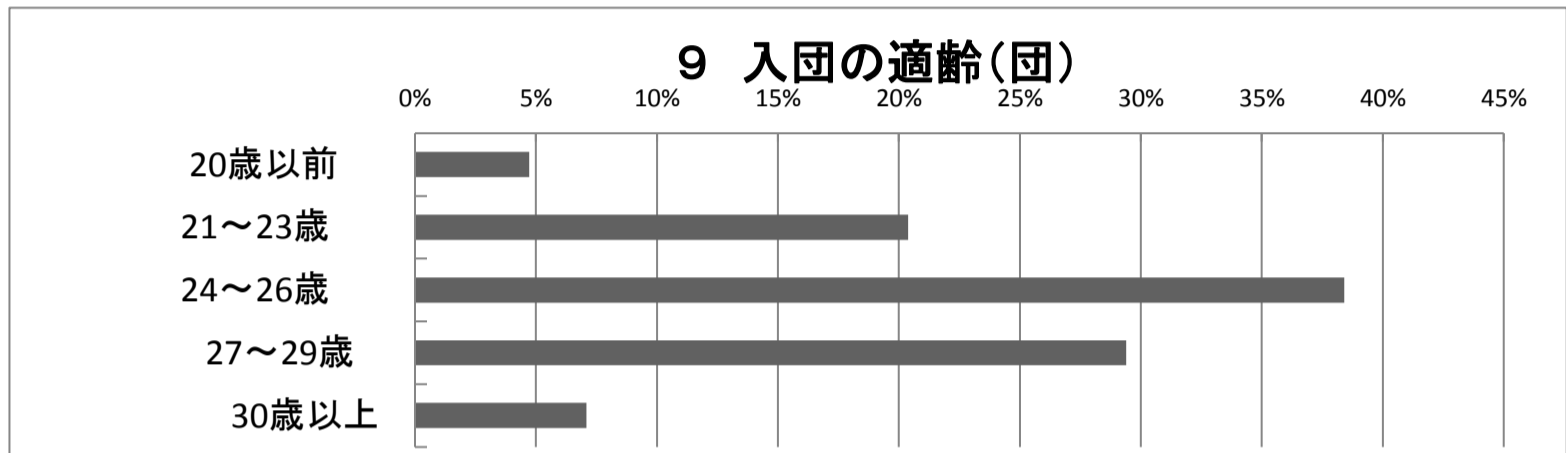
平成27年4月現在 (年)

全団	隊別内訳 (方面隊)				
	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
6.732	5.37	5.87	5.93	7.12	9.37

9 あなたが思う消防団に入団する適齢をお答えください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	20歳以前	22	3	7	1	3	8
②	21～23歳	95	18	12	8	9	48
③	24～26歳	179	42	35	39	24	39
④	27～29歳	137	38	22	46	25	6
⑤	30歳以上	33	3	6	9	10	5
	計	466	104	82	103	71	106



入団の適齢としては、「24歳～26歳」と考える人が38%と最も高く、次いで「27歳～29歳」が29%と、20歳代半ばでの入団が理想的と考える人が多く占めています。

隊別に見ると、信楽方面隊では20歳代前半、甲賀方面隊・甲南方面隊では20歳代後半が入団の適齢と考える人が多く占め、実際の加入年齢と見合ったものとなっています。

団全体でも実際の加入年齢は平均で30歳前後となっています。

※ 参考資料 過去5年の平均加入年齢

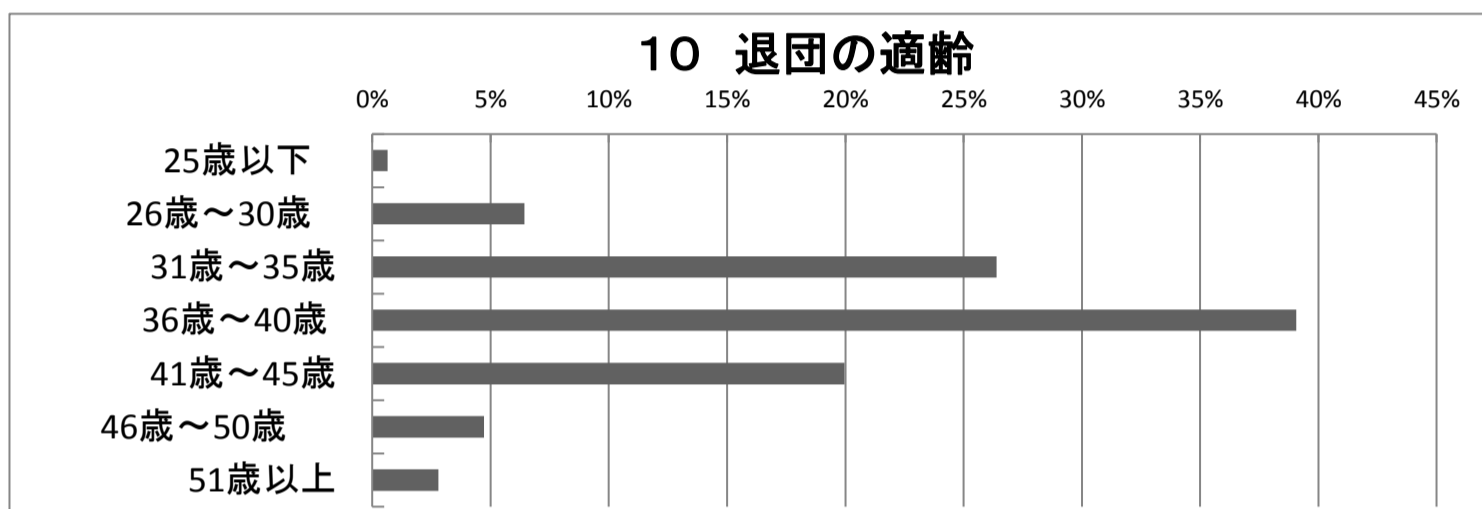
(歳)

	H23	H24	H25	H26	H27
全団	29.28	29.83	30.34	28.66	29.32
水口方面隊	28.62	29.17	29.95	29.62	28.84
土山方面隊	27.13	28.55	27.7	25.4	27.47
甲賀方面隊	32	32.68	31.25	31.5	31.59
甲南方面隊	36.19	32.52	34.38	37.62	35.75
信楽方面隊	23.2	24.54	26	23.33	26.17

10 あなたが思う消防団を退団する適齢をお答えください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	25歳以下	3	1	2	0	0	0
②	26歳～30歳	30	7	11	2	4	6
③	31歳～35歳	123	36	34	25	9	19
④	36歳～40歳	182	46	28	47	19	42
⑤	41歳～45歳	93	12	7	25	24	25
⑥	46歳～50歳	22	2	0	3	10	7
⑦	51歳以上	13	0	0	1	5	7
	計	466	104	82	103	71	106



退団の適齢としては、「36歳～40歳」と考える人が39%と最も高く、次いで「31歳～35歳」が26%、「41歳～45歳」が20%と、30歳代での退団が理想的と考える人が多く占めています。

隊別に見ると、土山方面隊では30歳代前半、甲南方面隊では40歳代前半が最も多いことが特化されます。

団全体では実際の退団年齢は平均で30歳代後半となっています。

※ 参考資料 過去5年の平均退団年齢

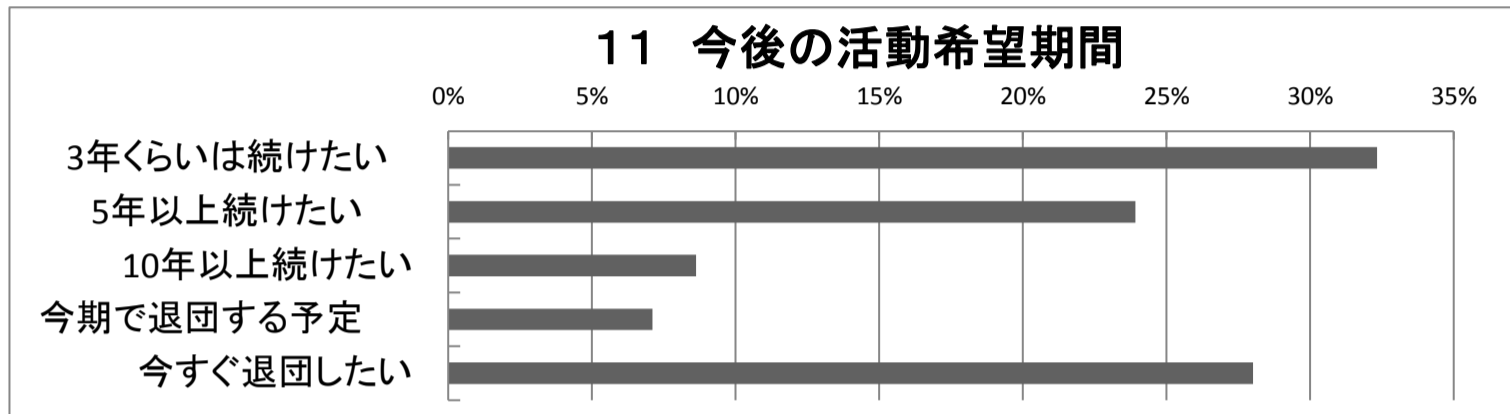
(歳)

	H22	H23	H24	H25	H26
全団	38.12	39.03	36.9	38.92	39.05
水口方面隊	35.75	38.08	36.19	39.5	37.56
土山方面隊	36.63	36.1	35	37.57	36.08
甲賀方面隊	38.9	40.68	37.91	39.56	40.86
甲南方面隊	42	44.86	42.2	44.55	44.17
信楽方面隊	37.89	37.91	34.31	35.89	39.87

11 あなたはこれから何年くらい消防団員として活動したいですか。

(人)

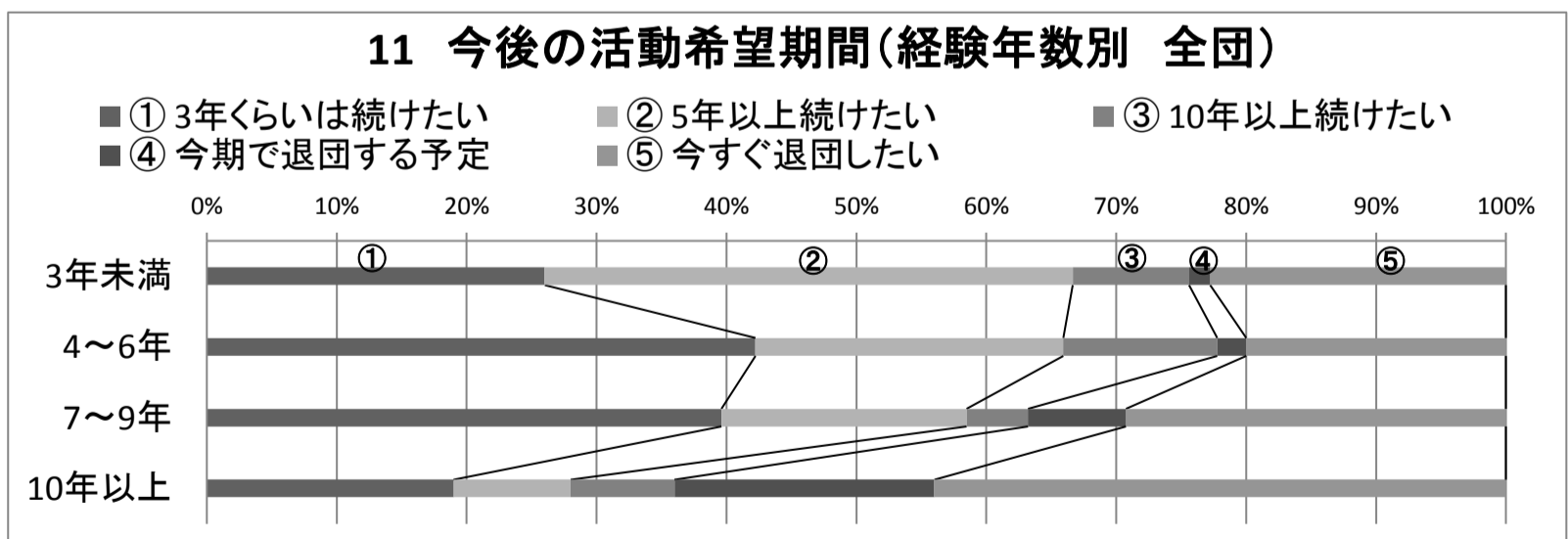
	項目	隊別内訳					(方面隊)
		全団	水口	土山	甲賀	甲南	
①	3年くらいは続けたい	150	44	21	36	23	26
②	5年以上続けたい	111	26	17	24	15	29
③	10年以上続けたい	40	2	4	6	7	21
④	今期で退団する予定	33	12	5	7	7	2
⑤	今すぐ退団したい	130	20	35	30	17	28
	計	464	104	82	103	69	106



今後の活動希望期間としては、「3年くらい続けたい」が32%、「5年以上続けたい」が24%という一方、「今すぐ退団したい」が28%を占めます。土山方面隊においては今すぐ退団したいと考える団員は約43%と突出しています。

11 あなたはこれから何年くらい消防団員として活動したいですか。(経験年数別)

	項目	経験年数			
		3年未満	4～6年	7～9年	10年以上
①	3年くらいは続けたい	32	57	42	19
②	5年以上続けたい	50	32	20	9
③	10年以上続けたい	11	16	5	8
④	今期で退団する予定	2	3	8	20
⑤	今すぐ退団したい	28	27	31	44
	計	123	135	106	100



今後の活動希望期間を経験年数別にみると、入団3年未満のものは、約75%が「続けたい」と考えている一方、約20%が「今すぐ退団したい」と考えています。

入団4～6年のものは、「続けたい」と考えるものが微増となりますが、入団7年～9年の者は「続けたい」が微減となり、「今すぐ退団したい」が30%近くを占めるようになります。

入団10年目には「続けたい」が約35%となり「今すぐ退団したい」が約45%を占めます。

11 あなたはこれから何年くらい消防団員として活動したいですか。(経験年齢別×隊別)
(人)

	水口方面隊	経験年数			
		3年未満	4～6年	7年～9年	10年以上
①	3年くらいは続けたい	9	16	16	3
②	5年以上続けたい	11	9	6	0
③	10年以上続けたい	0	1	0	1
④	今期で退団する予定	1	2	4	5
⑤	今すぐ退団したい	7	4	6	3

	土山方面隊	経験年数			
		3年未満	4～6年	7年～9年	10年以上
①	3年くらいは続けたい	5	8	3	5
②	5年以上続けたい	9	5	2	1
③	10年以上続けたい	1	3	0	0
④	今期で退団する予定	0	1	2	2
⑤	今すぐ退団したい	6	12	6	11

	甲賀方面隊	経験年数			
		3年未満	4～6年	7年～9年	10年以上
①	3年くらいは続けたい	10	16	8	2
②	5年以上続けたい	12	10	2	0
③	10年以上続けたい	3	3	0	0
④	今期で退団する予定	1	0	1	5
⑤	今すぐ退団したい	8	8	9	5

	甲南方面隊	経験年数			
		3年未満	4～6年	7年～9年	10年以上
①	3年くらいは続けたい	5	7	8	3
②	5年以上続けたい	6	4	5	0
③	10年以上続けたい	3	3	0	1
④	今期で退団する予定	0	0	1	6
⑤	今すぐ退団したい	5	2	5	5

	信楽方面隊	経験年数			
		3年未満	4～6年	7年～9年	10年以上
①	3年くらいは続けたい	3	10	7	6
②	5年以上続けたい	12	4	5	8
③	10年以上続けたい	4	6	5	6
④	今期で退団する予定	0	0	0	2
⑤	今すぐ退団したい	2	1	5	20

各隊、10年未満の経験年数においては「3年～5年続けたい」という思いのものが20%～60%の範囲で一定割合を占めています。

土山方面隊は10年以上の経験者で「今すぐ退団したい」という思いの割合が50%を超え突出しています。その他甲賀方面隊、信楽方面隊においても40%以上の高い割合となっています。

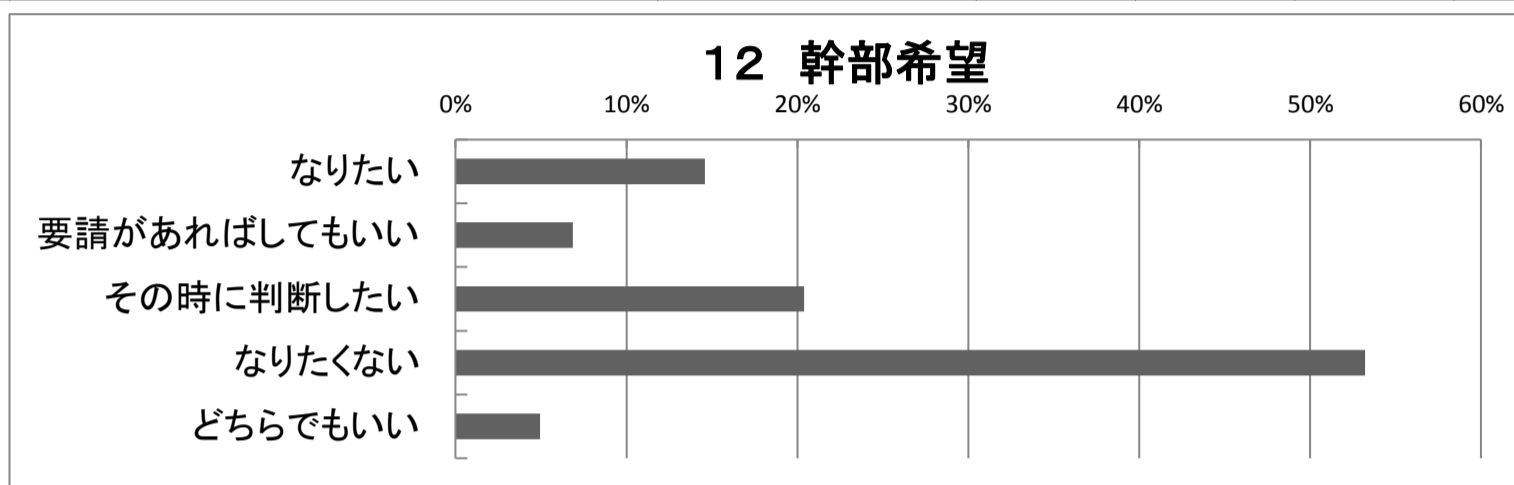
特に、土山方面隊においては、4年目以降から「今すぐ退団したい」という割合が40%を超え高い割合を推移しています。

信楽方面隊においては各経験年数において「10年以上続けたい」という意識のものも比較的高い割合を占めており、10年以上の経験数のももの「続けたい」という意識のものが約15%と一定割合を占めています。

12 あなたは将来、幹部団員(部長以上)になりたいですか。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	なりたい	68	14	13	13	10	18
②	要請があればそれでもいい	32	1	7	2	6	16
③	その時に判断したい	95	12	17	15	16	35
④	なりたくない	248	76	40	69	35	28
⑤	どちらでもいい	23	1	5	4	4	9
	計	466	104	82	103	71	106



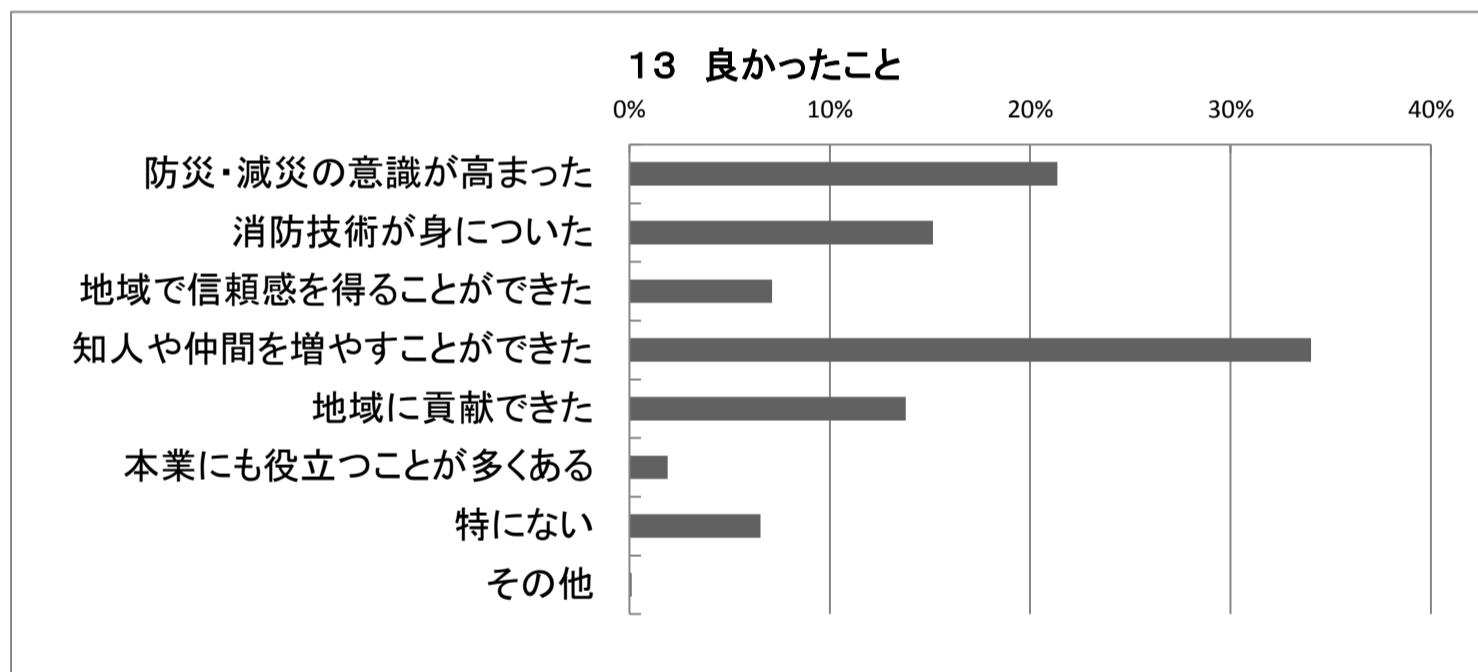
半数以上の団員は幹部団員にはなりたくないと考えてますが、「なりたい」「要請があればそれでもいい」と考えている団員も22%います。

13 あなたが消防団活動を通じて良かったと感じることを2つまで選んでください。

	項目	1つ目	2つ目	1つ目+2つ目
①	防災・減災の意識が高まった	172	17	189
②	消防技術が身についた	85	49	134
③	地域で信頼感を得ることができた	41	22	63
④	知人や仲間を増やすことができた	133	168	301
⑤	地域に貢献できた	11	111	122
⑥	本業にも役立つことが多くある	2	15	17
⑦	特にない	22	36	58
⑧	その他	0	1	1
	計	466	419	885

(人)

	1つ目+2つ目	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	防災・減災の意識が高まった	49	29	43	29	39
②	消防技術が身についた	27	27	24	23	33
③	地域で信頼感を得ることができた	18	7	15	10	13
④	知人や仲間を増やすことができた	64	57	62	47	71
⑤	地域に貢献できた	27	16	28	16	35
⑥	本業にも役立つことが多くある	3	2	4	3	5
⑦	特にない	7	16	17	5	13
⑧	その他	0	0	0	1	0



消防団に入ってよかったこととして「知人や仲間を増やすことができた」が34%を占めています。次いで「防災・減災の意識が高まった」が21%、「消防技術の得とく」や「地域貢献」もそれぞれ15%を占めており、隊別にもこの傾向は同じです。

13 あなたが消防団活動を通じて良かったと感じること。(⑧その他の意見)

1	減災の意識をもつきっかけとなった
2	地域の知識が増えた

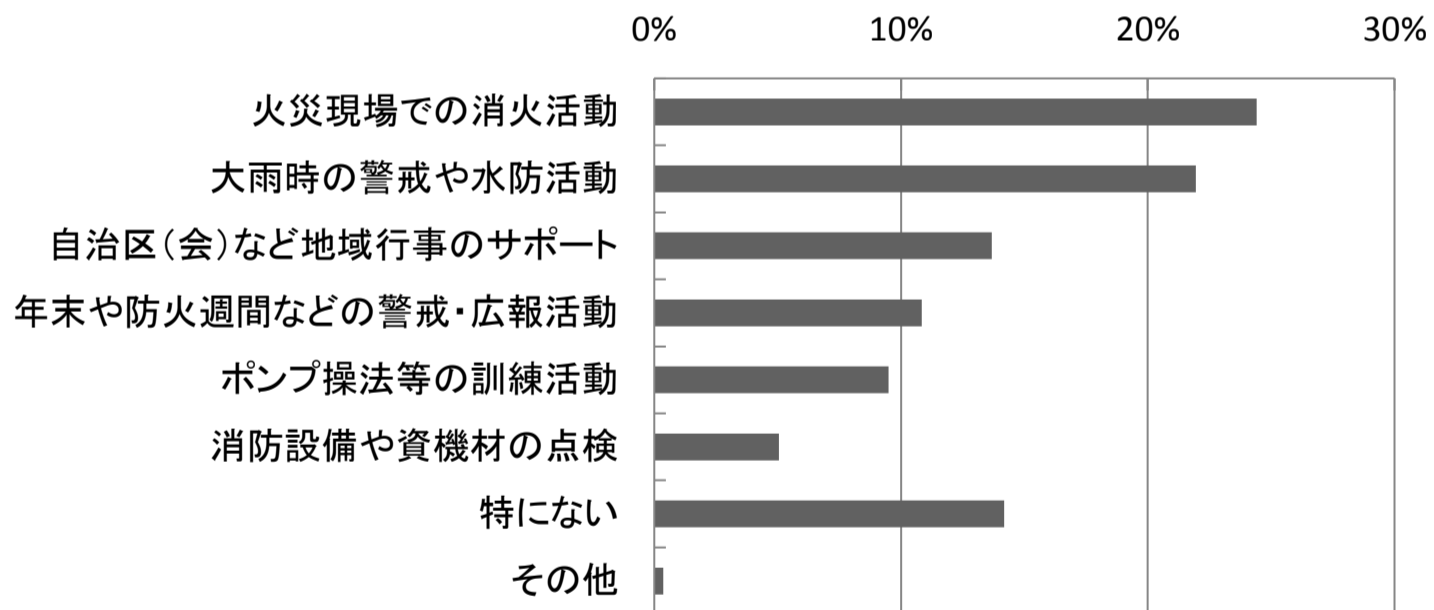
14 あなたが消防団活動でやり甲斐を感じることを2つまで選んでください。

項目	1つ目	2つ目	1つ目+2つ目
① 火災現場での消火活動	191	7	198
② 大雨時の警戒や水防活動	78	100	178
③ 自治区(会)など地域行事のサポート	61	50	111
④ 年末や防火週間などの警戒・広報活動	28	60	88
⑤ ポンプ操法等の訓練活動	13	64	77
⑥ 消防設備や資機材の点検	13	28	41
⑦ 特にない	78	37	115
⑧ その他	1	2	3
計	463	348	811

(人)

1つ目+2つ目	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
① 火災現場での消火活動	44	33	37	25	59
② 大雨時の警戒や水防活動	38	20	36	31	53
③ 自治区(会)など地域行事のサポート	27	8	39	15	22
④ 年末や防火週間などの警戒・広報活動	21	17	18	17	15
⑤ ポンプ操法等の訓練活動	21	26	7	12	11
⑥ 消防設備や資機材の点検	4	4	11	14	8
⑦ 特にない	24	30	27	12	22
⑧ その他	0	2	1	0	0

14 やりがいを感じること



やりがいを感じることは、「火災現場での消火活動」が24%、「大雨時の警戒や水防活動」が22%と実際の有事の活動にやりがいを感じる団員が多くを占めます。

14 あなたが消防団活動でやり甲斐を感じること。(⑧その他の意見)

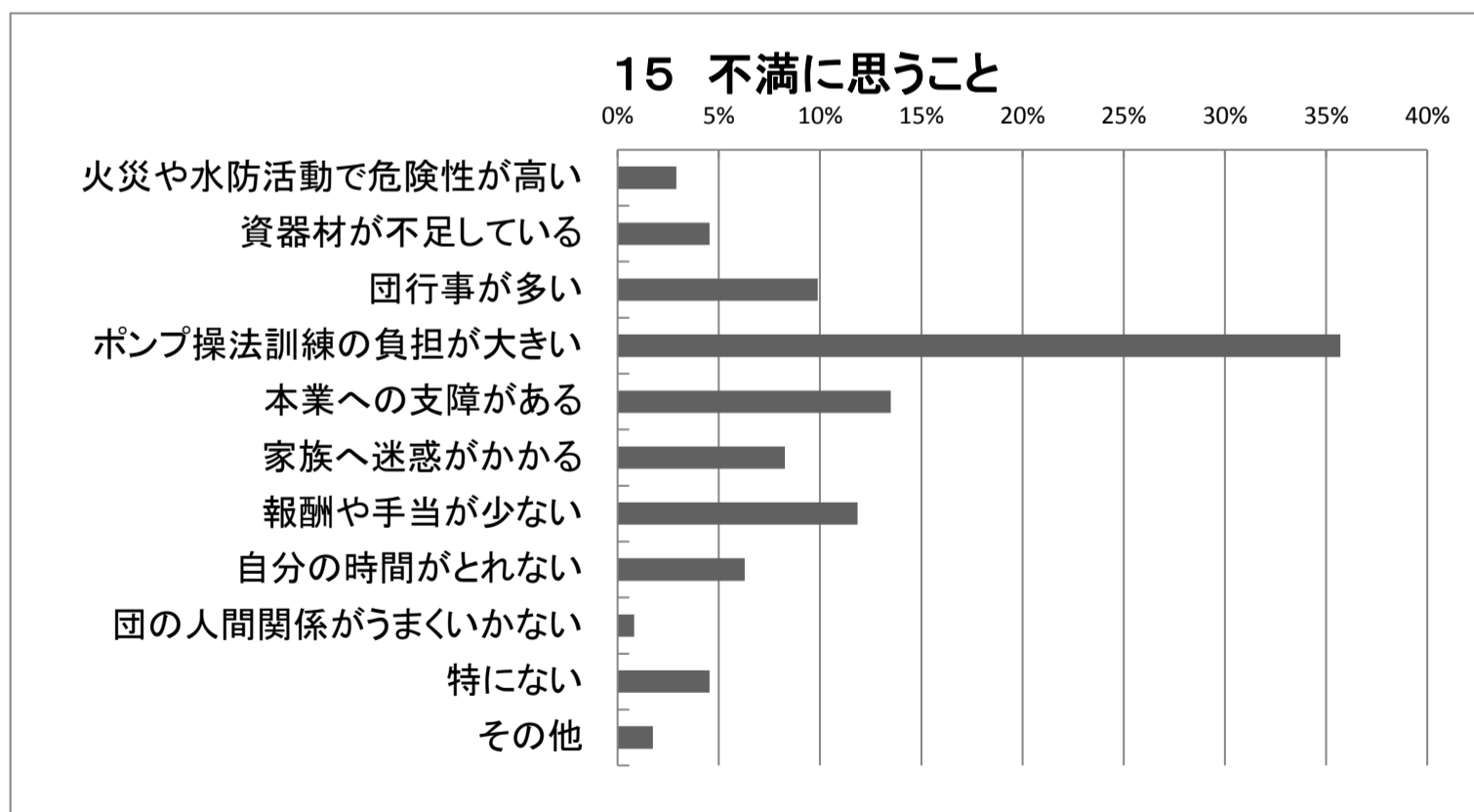
1	人命救助活動
2	仲間との団結

15 あなたが消防団活動で不満に思うことを2つまで選んでください。

	項目	1つ目	2つ目	1つ目+2つ目
①	火災や水防活動で危険性が高い	22	3	25
②	資器材が不足している	29	10	39
③	団行事が多い	67	18	85
④	ポンプ操法訓練の負担が大きい	239	68	307
⑤	本業への支障がある	39	77	116
⑥	家族へ迷惑がかかる	13	58	71
⑦	報酬や手当が少ない	26	76	102
⑧	自分の時間がとれない	3	51	54
⑨	団の人間関係がうまくいかない	1	6	7
⑩	特にない	21	18	39
⑪	その他	4	11	15
	計	464	396	860

(人)

	1つ目+2つ目	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	火災や水防活動で危険性が高い	2	3	7	4	9
②	資器材が不足している	10	8	5	6	10
③	団行事が多い	16	14	19	8	28
④	ポンプ操法訓練の負担が大きい	67	49	81	44	66
⑤	本業への支障がある	29	27	28	13	19
⑥	家族へ迷惑がかかる	21	12	19	8	11
⑦	報酬や手当が少ない	23	19	14	20	26
⑧	自分の時間がとれない	13	10	15	9	7
⑨	団の人間関係がうまくいかない	0	0	0	3	4
⑩	特にない	7	7	4	8	13
⑪	その他	3	4	1	4	3



「ポンプ操法訓練の負担が大きい」と感じる団員が36%と多くを占めます。隊別においてもこの項目を不満に思う比率は32%～42%と非常に高くなっています。次いで「本業への支障がある」が13%、「報酬や手当が少ない」が12%、「団行事が多い」が10%となっています。

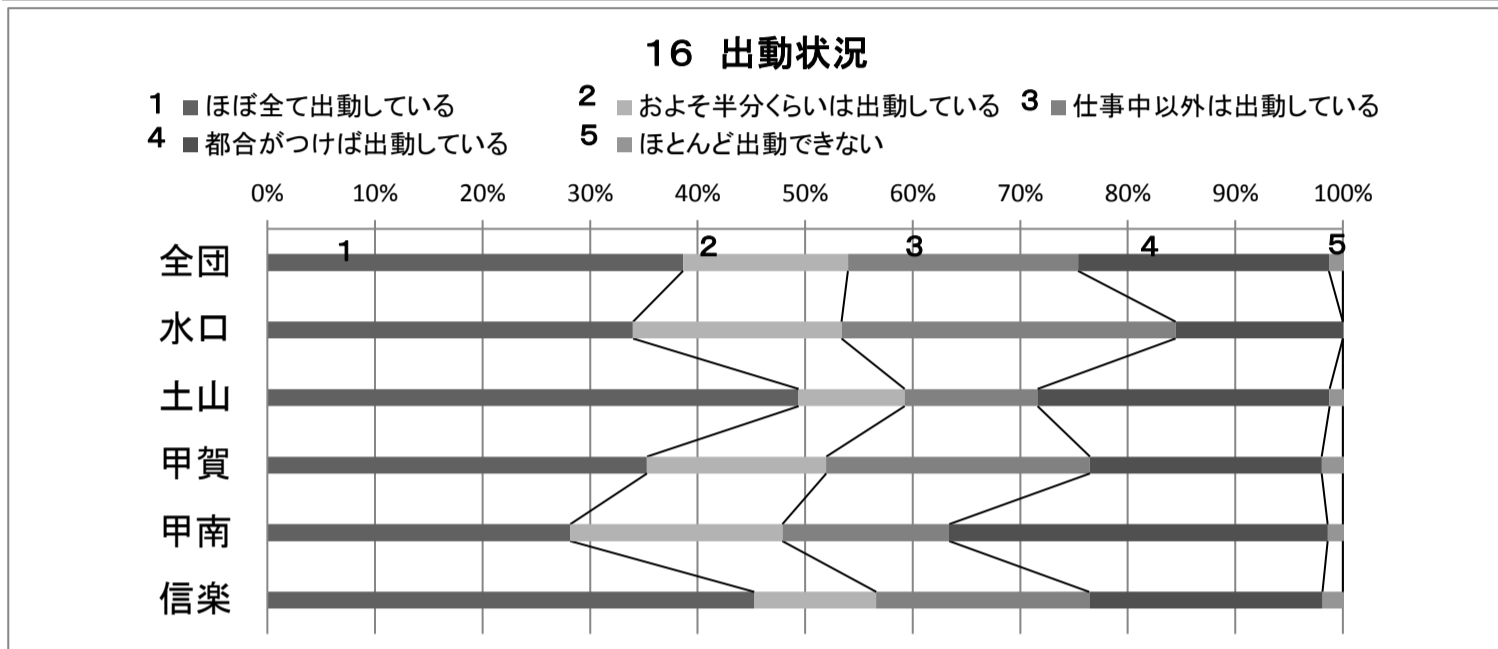
15 あなたが消防団活動で不満に思うこと。(⑩その他の意見)

1	同じ特別公務員の市議を特別扱いしすぎ、出初式などで団員が寒中に1時間以上待たされる。外部へアピールするためのセレモニーが多すぎる。市職員は団員の方を向かず写真ばかり撮っており憤りを感じる。次期団員候補がおらず、それに対する市のサポート改善が何も無い。市は地区ごとの人口分布を分かっているはずなのに、勧誘は団員任せでおかしい。都合の悪いことは消防団ですか。
2	年中無休の仕事柄や地区の役員など掛け持ちが多くスケジュールが大変
3	今後地域に入団できる人員がいなく、いつ退団できるか保障がない。
4	入団者の減少
5	地域になかなか認められていない
6	行事の連絡がいつも直前で予定が立てにくい
7	大会に出ないといけない
8	在籍の長期化
9	資機材購入費を手当てにあてるべき。本業ではないので、そんなに高価なものは不要。ポン操やりすぎ、入れ込み過ぎ。外からすればクレイジー。仕事にも影響する。家庭崩壊する。

16 あなたはどれくらい消防団活動に出動していますか。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	ほぼ全て出動している	179	35	40	36	20	48
②	およそ半分くらいは出動している	71	20	8	17	14	12
③	工作中以外は出動している	99	32	10	25	11	21
④	都合がつけば出動している	108	16	22	22	25	23
⑤	ほとんど出動できない	6	0	1	2	1	2



団全体では「ほぼ全て出動している」が約40%近くを占めますが、隊別にみると土山方面隊においては50%近くがこの傾向にあり突出しています。甲南方面隊においては相対的にやや低く、「都合がつけば出動している」という団員は約30%と逆に相対的に高い比率を占めています。

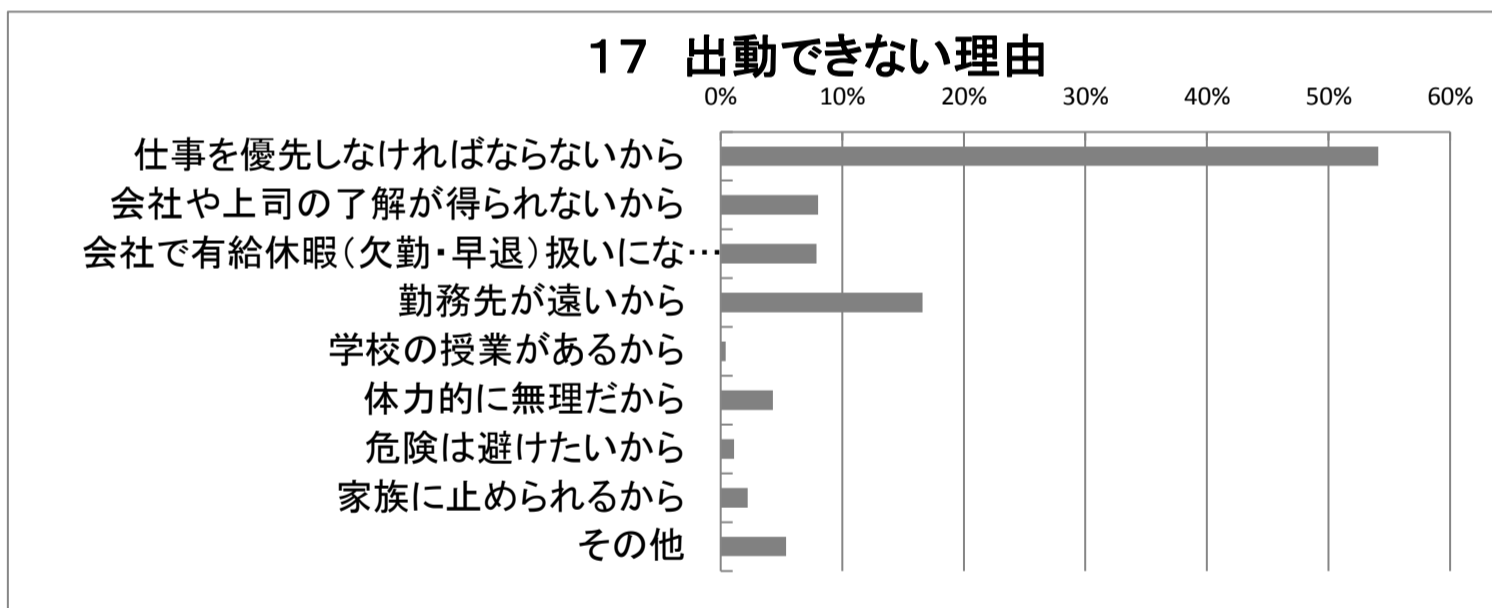
17 あなたが消防団活動に出動できない理由は何ですか。2つまで選んでください。

(人)

		1つ目	2つ目	1つ目+2つ目
①	仕事を優先しなければならないから	375	16	391
②	会社や上司の了解が得られないから	9	49	58
③	会社で有給休暇(欠勤・早退)扱いになるから	10	47	57
④	勤務先が遠いから	26	94	120
⑤	学校の授業があるから	1	2	3
⑥	体力的に無理だから	4	27	31
⑦	危険は避けたいから	1	7	8
⑧	家族に止められるから	1	15	16
⑨	その他	16	23	39
	計	443	280	723

(人)

	1つ目+2つ目	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	仕事を優先しなければならないから	93	64	90	57	87
②	会社や上司の了解が得られないから	10	13	17	5	13
③	会社で有給休暇(欠勤・早退)扱いになるから	13	8	11	9	16
④	勤務先が遠いから	22	19	33	17	29
⑤	学校の授業があるから	1	1	0	1	0
⑥	体力的に無理だから	7	6	7	5	6
⑦	危険は避けたいから	1	1	5	1	0
⑧	家族に止められるから	4	4	5	0	3
⑨	その他	8	7	5	6	13



出動できない理由として最も大きなものは「仕事の優先」が53%と圧倒的で、次いで「勤務先が遠い」が16%、その他「上司の了解が得られない」「有休休暇扱いになる」がそれぞれ8%となっています。

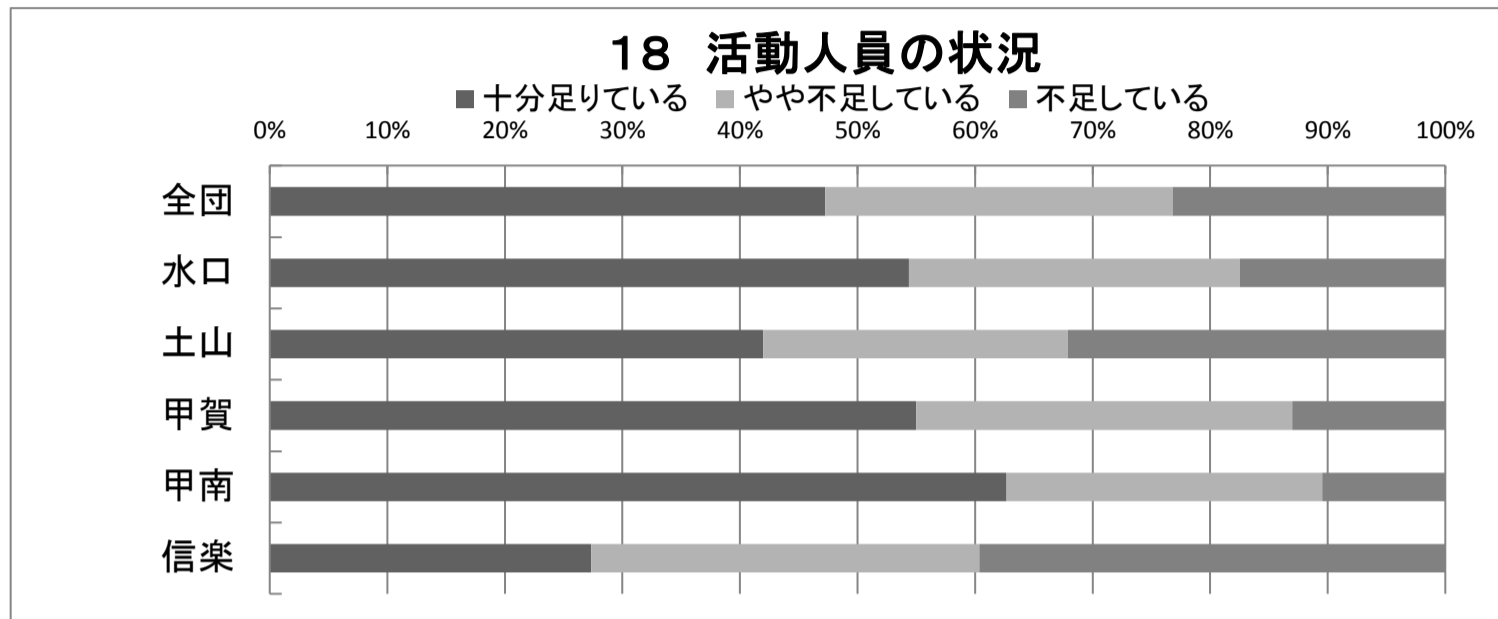
17 あなたが消防団活動に出動できない理由は何ですか。(㊟その他の理由)

1	工作中携帯を持ってないから
2	特に無し
3	楽しくないし自分の時間が無くなるから
4	自分の用事がある時
5	現在の住まいが甲賀市から遠いから
6	出動している
7	全て出動している
8	工作中はメールでの連絡を見れないから
9	休みません
10	それ以外の理由がない
11	他の用事がある
12	特になし
13	事前連絡が直前過ぎて他の予定と重なる
14	その他の用事
15	携帯電話の電波が届かない所での仕事の為

18 あなたが所属している班の人員は消防活動を行う上で足りていますか。

(人)

	項目	隊別内訳 (方面隊)					
		全団	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	十分足りている	216	56	34	55	42	29
②	やや不足している	135	29	21	32	18	35
③	不足している	106	18	26	13	7	42



1	水口方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	十分足りている	1	7	26	17	4	1
②	やや不足している	0	6	14	7	2	0
③	不足している	0	4	8	5	0	1

2	土山方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	十分足りている	0	7	20	6	1	0
②	やや不足している	2	8	5	5	1	0
③	不足している	3	8	7	6	1	1

3	甲賀方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	十分足りている	1	3	14	27	10	0
②	やや不足している	1	1	12	13	5	0
③	不足している	0	1	7	3	2	0

4	甲南方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	十分足りている	1	1	7	15	17	1
②	やや不足している	0	0	3	6	3	6
③	不足している	0	0	0	1	5	1

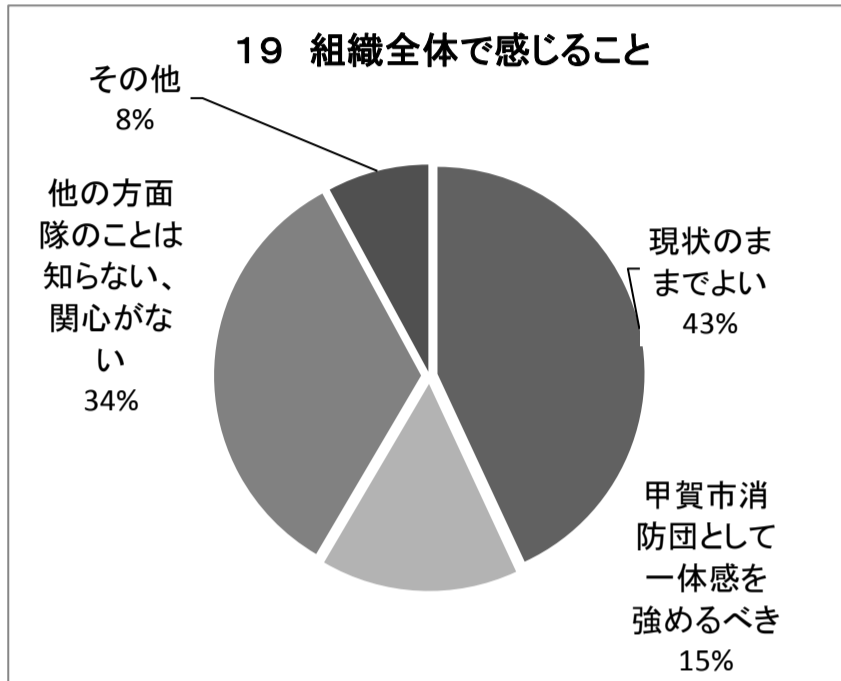
5	信楽方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	十分足りている	5	11	11	1	1	0
②	やや不足している	2	10	13	9	1	0
③	不足している	3	7	11	14	5	2

活動人員については、土山方面隊、信楽方面隊において「不足している」という意識が強い傾向にあります。逆に水口方面隊、甲賀方面隊、甲南方面隊においては「十分足りている」という意識が半数を超えています。

19 甲賀市消防団の組織全体であなたが感じることは何ですか。1つ選んでください。

(人)

	項目	全団	隊別内訳 (方面隊)				
			水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	現状のままでよい	196	44	25	51	36	40
②	甲賀市消防団として一体感を強めるべき	70	20	14	8	15	13
③	他の方面隊のことは知らない、関心がない	153	27	33	35	16	42
④	その他	36	10	7	8	2	9



1	水口方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	現状のままでよい	0	9	22	9	3	1
②	甲賀市消防団として一体感を強めるべき	1	1	5	11	1	1
③	他の方面隊のことは知らない、関心がない	0	6	12	8	1	0
④	その他	0	0	8	1	1	0

2	土山方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	現状のままでよい	2	9	10	4	0	0
②	甲賀市消防団として一体感を強めるべき	1	5	3	4	1	0
③	他の方面隊のことは知らない、関心がない	2	8	12	9	1	1
④	その他	0	1	6	0	0	0

3	甲賀方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	現状のままでよい	1	2	21	20	7	0
②	甲賀市消防団として一体感を強めるべき	0	0	2	5	1	0
③	他の方面隊のことは知らない、関心がない	1	1	10	16	7	0
④	その他	0	2	0	2	4	0

4	甲南方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	現状のままでよい	2	1	6	9	15	3
②	甲賀市消防団として一体感を強めるべき	0	0	2	7	5	1
③	他の方面隊のことは知らない、関心がない	0	0	2	8	4	2
④	その他	0	0	0	0	1	1

5	信楽方面隊	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	45歳以上
①	現状のままでよい	3	17	12	6	2	0
②	甲賀市消防団として一体感を強めるべき	4	3	4	0	2	0
③	他の方面隊のことは知らない、関心がない	3	7	16	14	1	1
④	その他	0	1	2	3	2	1

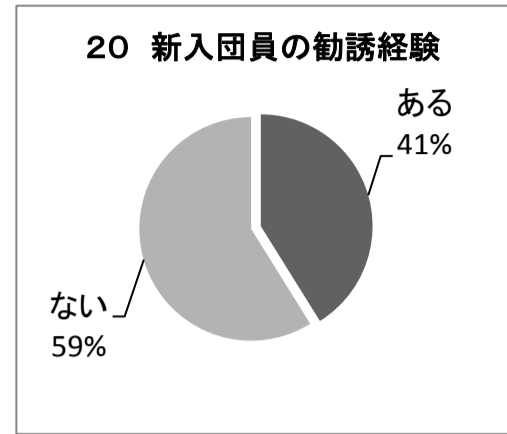
組織全体としては「現状のままでよい」が43%、次いで「他の方面隊に関心がない」が34%と、「組織として一体感を強めるべき」は15%となっています。その他の意見としては次頁のとおりです。

19 甲賀市消防団の組織全体であなたが感じることは何ですか。(④その他の意見)

1	入団を義務化してはどうか
2	まだ詳しく分からない
3	ポン操ではなく実際の災害を前提に水防団としての取組や区等への防災意識向上を図る取組を行うべき
4	旧町体制を見直し団員人数、装備の適正化や再配置を行うべき。(機動性向上、コスト減、甲賀広域との連携の強化のため。)
5	縮小
6	ポンプ操法にウェイトをおきすぎる
7	訓練や行事の統一をはかるべき
8	ポン操の考え方を改めるべき
9	ポン操やめてほしい
10	甲賀市全体がポン操に熱心すぎる(一部幹部)
11	定員を減らすべき
12	もっと時代にあった組織にすべき
13	ポンプ操法大会を中止してほしい
14	古臭い！ポン操の大会に熱くなりすぎ！
15	周りの人々に活動を十分理解してもらえない。好きで勝手にしているように思われていると感じる
16	方面隊で活動、資材の差があるのはおかしい。市として一体で動くべきと考えます
17	ポン操とポンプ点検しかしていないイメージ。他の活動はないのか。救命講習などアイデアはあるはず
18	伝統にこだわりすぎ
19	人員の足りていない地域の組織のありかたをもっと考えてほしい
20	人員不足なので組織統合するべき
21	ポン操の負担が大きい
22	一体感がない。方面隊によって禁止事項が異なる
23	甲賀市だけでなく消防団全体の品位を上げることとポンプ操法の見直し(大会してもモノになっていない人が多い。基本といいつつ毎回どこか手順が変更される。)
24	定数見直し、縮小、合併など時代に見合った配置を。総人口減に対し、班、団員の数が数十年来変わらないのでは筋が通らない。定年数での団員入れ替えを
25	ポン操いらない。他県ではこれが原因で自殺者まで出ているのになぜ？いつまでする
26	定員を減らしてほしい。人手不足でいつまでもやめられない
27	他の方面隊とあまりしゃべらないので分からない
28	各方面隊それぞれがちいきとコミュニケーションをとって活動していく
29	よその市の話をきくと、3年や5年でやめられるとことがあるときとつらいのでそれぐらいで辞めさせてほしいです
30	ポンプ操法大会時に団員数の少ない分団には負担が大きすぎる。大会は必要だが回数は減らすべき
31	人数が減っているので班数を再編成してほしい
32	他方面隊の消防団との交流が一切無いので訓練内容や回数、行事等について色々意見交換したい
33	ポン操の負担が大きすぎる
34	人数が少ない(新入団員)
35	災害時のために頑張っているというより別のために頑張っている様に感じる
36	町大会などはやめてほしい
37	旧町・古い考え方から新しく若い考え方に向かうべき。資機材にかかるお金を手当てにかかるべき
38	一分の幹部は良いが上と下で温度差が大きすぎる。他は昔の町のまま。甲賀市になる前に入っている団員は体制を刷新すべき。一部の幹部の考えに偏っている。本当に団員と防火、防災を考えている人が上に立つべき
39	方面隊によって、違いはあるかもしれないが、上層部が団の現状(中身)について理解しているように思えない。時代による変化を真に受け止め改善を図ってほしい

20 あなたはこれまで新入団員の勧誘をしたことがありますか。
(人)

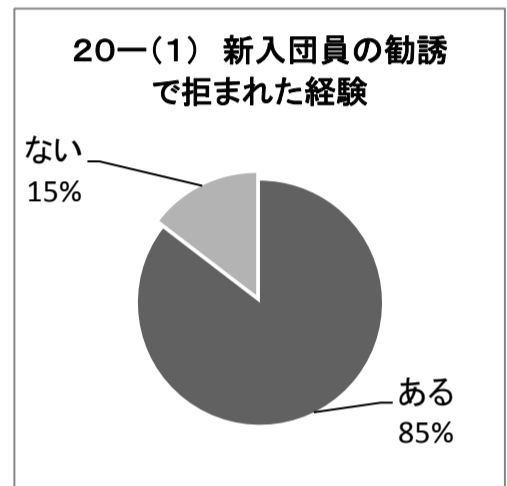
①	ある	190
②	ない	272



20 前問20で「ある」と答えた方にお伺いします。
入団を拒まれたことはありますか。

(人)

①	ある	158
②	ない	27



20 勧誘を断られた理由

1	仕事・プライベートの為
2	土日が休みでないから
3	大変そうだから(朝等早くて)
4	門前払い。親が断ってくる
5	イメージが悪い
6	酒を飲まされるイメージがあるから
7	めんどくさい
8	本業に支障がでるから
9	面倒でイヤ、仕事の都合、親が出てきて本人に会えない
10	仕事が忙しいから
11	ポンプ操法訓練が嫌いという理由
12	若い人には理解を得られない。ただやりたくないから
13	ポンプ操法の練習が朝早くからある
14	交代勤務をしているから
15	入ったら長いこと辞められないから
16	勤務や日常生活に負担がかかり過ぎることへの不満(※特にポンプ操法が未経験者でも分かるくらい嫌がられている。)
17	能力的に勤まらない。・別に地区の役が当たりそうなのでイヤ
18	消防署があるのに団は意味がない(説明しても聞く気がない)
19	団員数が少ない為今後が心配
20	仕事の内容や他の人も入っていないなど
21	非常にハードな印象をもっている
22	ボランティアとしての負担が大きすぎる。勤務等の状況もあるが活動に参加することがなかなかできず、結果的に立場が悪くなりデメリットしかないと感じるなど

21 消防団員の減少が全国的な傾向にある中で、新入団員を確保するためにあなたが良策と思われるものは何ですか。2つまで選んでください。

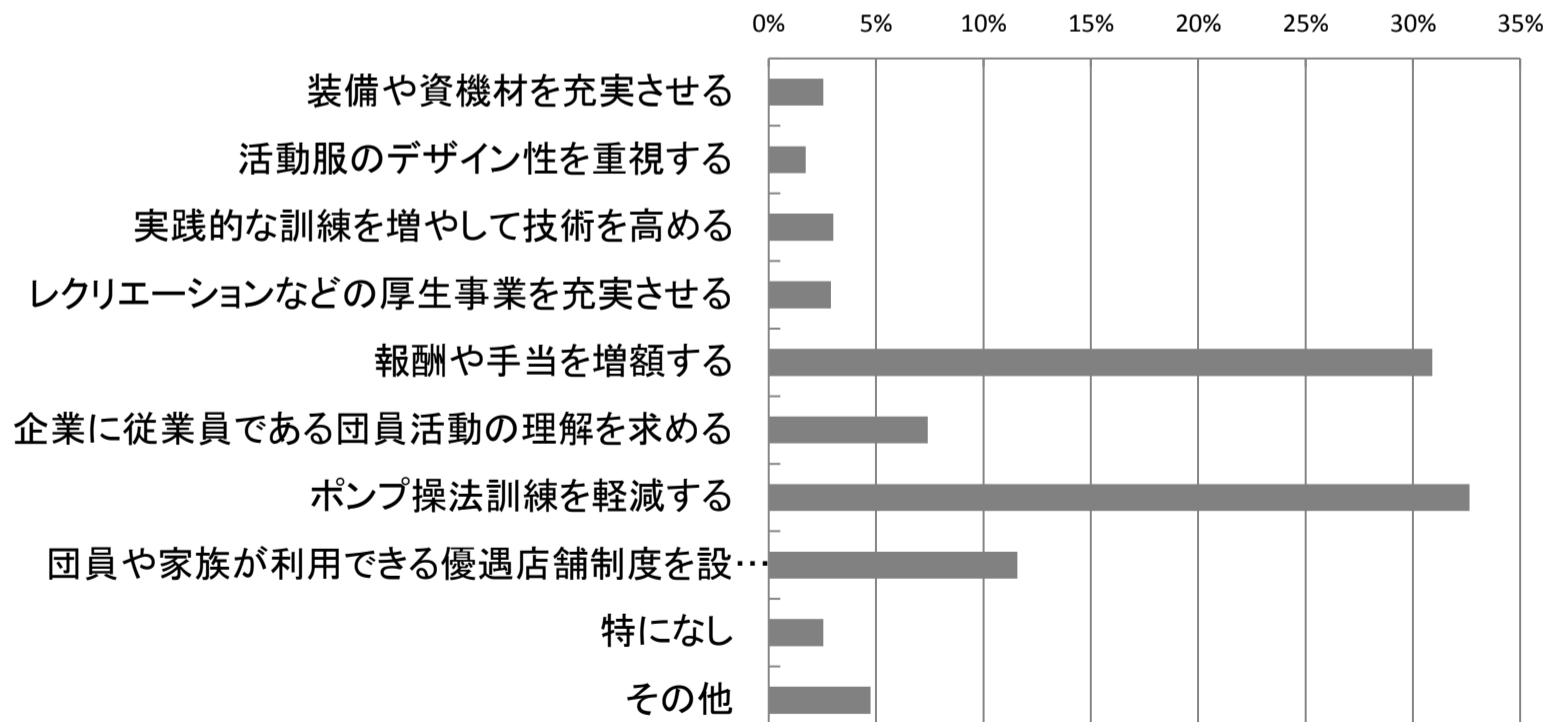
(人)

		1つ目	2つ目	1つ目+2つ目
①	装備や資機材を充実させる	18	4	22
②	活動服のデザイン性を重視する	10	5	15
③	実践的な訓練を増やして技術を高める	20	6	26
④	レクリエーションなどの厚生事業を充実させる	21	4	25
⑤	報酬や手当を増額する	219	48	267
⑥	企業に従業員である団員活動の理解を求める	38	26	64
⑦	ポンプ操法訓練を軽減する	103	179	282
⑧	団員や家族が利用できる優遇店舗制度を設ける	17	83	100
⑨	特になし	10	12	22
⑩	その他	8	33	41
	計	464	400	864

(人)

	1つ目+2つ目	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	装備や資機材を充実させる	7	4	5	3	3
②	活動服のデザイン性を重視する	1	2	2	3	7
③	実践的な訓練を増やして技術を高める	6	4	7	6	3
④	レクリエーションなどの厚生事業を充実させる	6	1	1	5	12
⑤	報酬や手当を増額する	52	50	61	45	59
⑥	企業に従業員である団員活動の理解を求める	17	10	14	4	19
⑦	ポンプ操法訓練を軽減する	59	55	73	34	61
⑧	団員や家族が利用できる優遇店舗制度を設ける	22	18	17	21	22
⑨	特になし	4	3	5	4	6
⑩	その他	17	6	4	4	10

21 新入団員確保の良策



新入団員の確保の良策として「ポンプ操法訓練の軽減」33%を筆頭に、次いで「報酬や手当を増額する」が31%となっています。その他「団員の優遇制度」12%、「事業所への理解を求める」7%が主な意見となっており、その他の意見は次頁のとおりです。

21 消防団員の減少が全国的な傾向にある中で、新入団員を確保するためにあなたが良策と思われるものは何ですか。(⑩その他の意見)

1	義務化・役所からの勧誘
2	地域住民に対する防災意識向上を図る取り組みを行いたく飲んだくれている印象を変えるよう自治体と連携する
3	操法訓練は必要だが大会は不要でやめるべき
4	地域組織の役職の1つとしてする
5	軽減とかじゃなくて県大会とかやめればいい。誰のためにしているかがなぞ。意味不明
6	団に対するイメージを変えていく。今のままでは良いイメージを持たれていないように思う
7	負担を少なくする
8	在団期間が不明なままの入団が問題。度を超えた幹部団員の消防への熱心さとの温度差
9	出動回数を減らす(行事などの)
10	住民が減っているので、消防団員も減って当然
11	地区の役職者に若い者に負担のある組長などの役を与えず、消防団に入らせるよう説得させる。勧誘を団員の仕事にさせない。待遇、条件を考えて入る者はほとんどいない
12	公務員は入団必須にすべき
13	ポンプ操法大会を中止する
14	体育会傾向からの脱却
15	市役所の職員が勧誘を行う。退団する人が勧誘しないとやめられないのは常識的におかしい
16	市のポンプ操法大会レベルは必要と考えるが県大会出場はやめていただきたい
17	5年くらいで退団できるようにして負担軽減する。自治会にも理解を頂き消防団在籍時は色々な役員(子ども会、学校役員)について免除
18	市民税軽減や市役所での手数料無料にするなど
19	ポン操の大会に熱くなりすぎている。伝統とかどうでもいい！仕事、家庭に悪影響が出ている。保障しろ！
20	自治会の中で強制力や理解がたらない
21	区や地域の協会がもっと必要。必要性の理解
22	見た目や優遇など必要ない。要は地域を誰が守るのか、全ての人の意識の向上と理解が必要。区の役員を選出するのに、消防団は団員だけに確保を任せるのか。生命と仕事、家族を犠牲にするわけではないが、頑張っている等をきいてからしてほしい。地域が一丸となれば無理なことはない
23	区長や町代の理解・協力。(多少の強制力を伴って)
24	小中高大・学生へのPR、成人式などPR広報が必要
25	古い体質の一新、メリハリのある活動を
26	成果を見える化する
27	活動のため団員が署員に指導を仰ぎますが、団員は署員の配下という解釈は大げさかもですが横柄な対応をされる方がいると、ボランティアとしてやってる活動のモチベーションが下がります
28	現状は自治会の消防団に対する意識が低いように感じるため、団員確保は自治会の義務化にしてほしい
29	入団することが当たり前という社会の流れを作る。韓国の徴兵制度のような
30	②④⑧に何の意味がありますか？根本的に選択肢にあることがおかしい。消防団を実態に合った数に縮小し、常備消防職員を増員(採用)する。失業者への雇用創出と合わせて行う
31	地域とのつながりを密にし地域を通し団員の確保をおねがいする
32	強制にすること
33	団員に対する負担を減らし参加しやすくするべきで
34	団員の数を増やし都合が付かないときに休みやすくする。今は人員が少ないので休みにくい
35	区として必要ならば、順番じゃなくとも、ある程度負担を回す努力を区としてやるべき
36	今の若者は自分の時間まず最優先していると思います。消防団活動にまずは興味をもってもらうことが大事だと思います
37	PR活動
38	参加できる時に参加できる制度にするべき
39	災害時、助けられる人が助けてほしい人を助けるという意識を持ってもらう
40	学生を入れる、ポン操をやめる、区に義務を課す、会社に義務を課す(何人入かを決める)
41	第一に管理をしている市が近年のライフスタイルを理解すべき！イメージアップのために消防団員に負荷をかけると余計に求心力を失う
42	昔からのイメージを刷新して入団しやすくする
43	入団年数や新入団員確保などを団員自体に任せるのではなく、制度の中でしっかりと決めその責務を区などでしっかりと負うことが必要。今回のような調査をこまめに行い、改善を行っていかないとますます消防が地域から浮いた存在になる

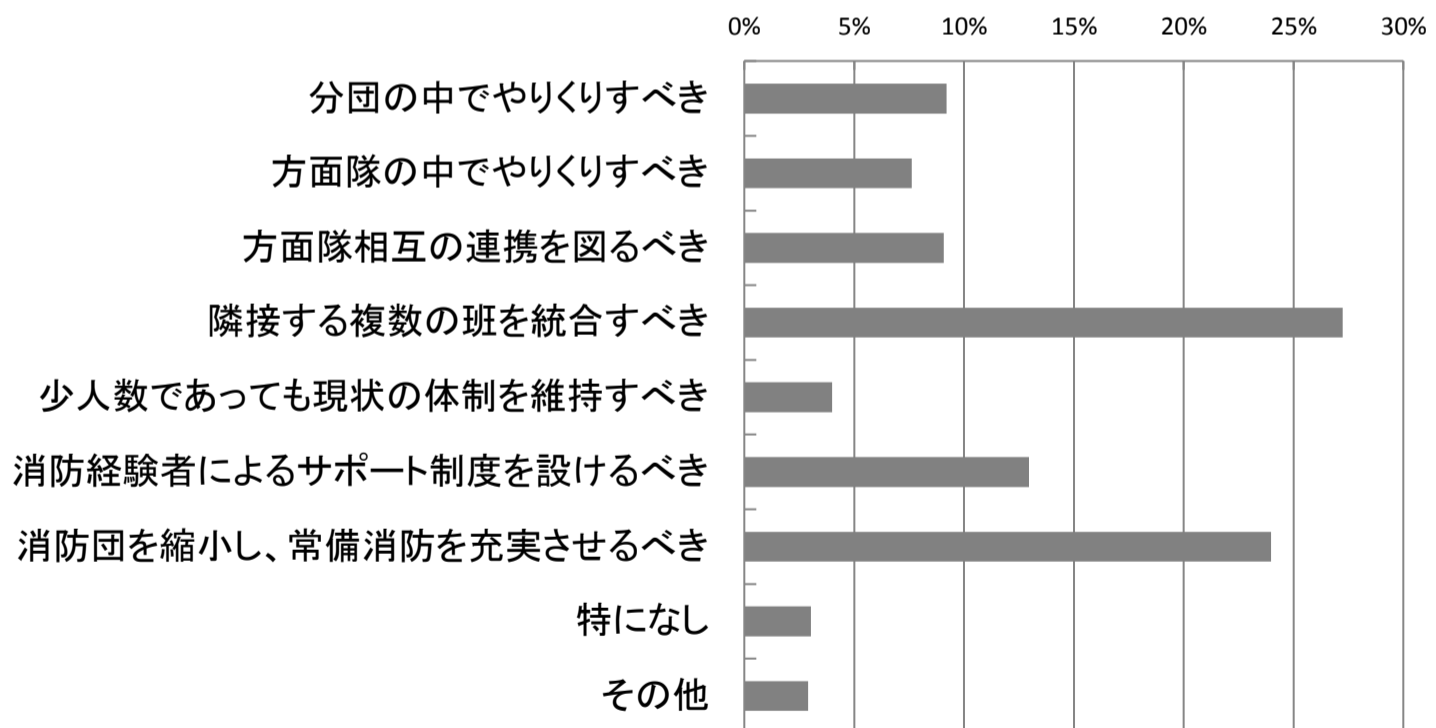
22 将来、少子化などにより思うように団員が確保できなくなった場合、あなたは消防団をどうすべきと考えますか。2つまで選んでください。

		1つ目	2つ目	1つ目+2つ目
①	分団の中でやりくりすべき	69	7	76
②	方面隊の中でやりくりすべき	46	17	63
③	方面隊相互の連携を図るべき	60	15	75
④	隣接する複数の班を統合すべき	156	69	225
⑤	少人数であっても現状の体制を維持すべき	18	15	33
⑥	消防経験者によるサポート制度を設けるべき	35	72	107
⑦	消防団を縮小し、常備消防を充実させるべき	61	137	198
⑧	特になし	12	13	25
⑨	その他	6	18	24
	計	463	363	826

(人)

	1つ目+2つ目	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
①	分団の中でやりくりすべき	12	11	15	8	30
②	方面隊の中でやりくりすべき	10	11	14	14	14
③	方面隊相互の連携を図るべき	20	11	13	15	16
④	隣接する複数の班を統合すべき	54	45	55	29	42
⑤	少人数であっても現状の体制を維持すべき	7	6	6	6	8
⑥	消防経験者によるサポート制度を設けるべき	24	9	29	17	28
⑦	消防団を縮小し、常備消防を充実させるべき	36	48	38	31	45
⑧	特になし	5	3	7	3	7
⑨	その他	10	3	6	2	3

22 将来に向けて団をどうすべきか



将来に向けては「隣接する複数の班を統合すべき」が27%、「消防団を縮小し常備消防の充実させる」が24%、「消防経験者によるサポート制度を設ける」が13%のほか、「組織内での相互連携」も規模ごとに8%から9%を占めています。その他の意見は次頁のとおりです。

22 将来、少子化などにより思うように団員が確保できなくなった場合、あなたは消防団をどうすべきと考えますか。(⑨その他の意見)

1	義務化
2	団地の人も参加させたらどうですかね
3	本職を増やす
4	福岡県八女市のようにOBの参加と有事の際のみ参加などバリエーションを増やす
5	二十歳を満たしたら3年をめどに順番に経験していく体制にしていく
6	高齢者・退職者
7	在団期間を短くし、負担の軽減を行う。その代替りできるだけ全ての人に入団してもらおう
8	各地域に自警団をおく
9	ポン操などの負担を減らしていくべき
10	仕事に支障をきたす活動はやめるべき
11	ポン操の大会で入賞ばかり考えているのであれば入団するものがない。入賞ばかり考えるのであれば、市で上位を目指すチームを作ればいい!本当にいい迷惑である
12	消防団を解散すればよい
13	区や地域の理解で団員を確保する
14	消防団だけではいつか限界が来る。地域を巻き込むには公的な強制力も必要
15	団員確保が困難なのは少子化のせいではない。地域に若い人がいるのに「入団する必要はない」「自分には関係ない」と考える人の考え方を改めることが最優先
16	統合も必要だが、担当地区の見直しが必要だと思う
17	消防団に入団し活動することで住民税の軽減させる
18	ポン操と強制的な訓練さえなかったら何年でも続けられる限り続けられる人が活動すればいいと思う
19	①②③を選択肢にあげることは、市が何もしないということです。給与として税金を受け取るのですから、危機管理課が率先し、市民、団員の納得が得られる努力をして下さい。この問題を長期間に渡り看過した責任は重大です
20	市の方から新入団員を確保してくるのが一番良い
21	団員がほぼいない班にわざわざ新しい積載車、ポンプを導入するのはどうかと思います
22	消防署も協力し消防団の負担をできるだけ減らすべき
23	消防署員を増加させる為の方策を検討する
24	地元に住む人全てに消防団に入ってもらおう
25	町大会などやめる!
26	方面隊が分団くらいでいい。ポンプも車も減らして、本当に動ける人だけにして、手厚く保障すればいい
27	区の協力をお願いする